



COLUMN

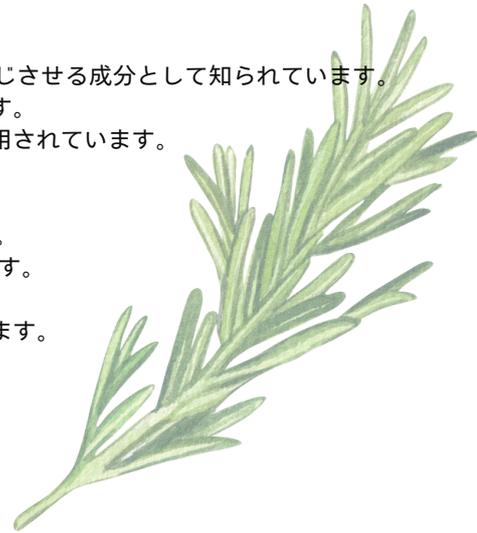
花粉シーズン前のケア — 2月に取り入れたい香りの工夫 —

2月は、寒さの中にも春の気配を感じ始める季節。同時に、花粉の飛散が徐々に始まる時期でもあります。本格化する前に空間環境を整えておくことは、心身のコンディション維持につながります。そこで注目したいのが、天然精油を用いた空間噴霧によるアロマケアです。

ユーカリ精油に多く含まれる1,8-シネオール（ユーカリプトール）は、呼吸をすっきりと感じさせる成分として知られています。この成分は鼻腔の冷感受容体に作用し、空気の通りが良くなったような清涼感をもたらします。また、海外研究では抗炎症作用や去痰作用が報告されており、呼吸器系のサポートとして活用されています。空間に穏やかに拡散することで、季節特有の不快感をやわらげる環境づくりが期待できます。

ローズマリーに含まれる1,8-シネオールやα-ピネンも、空気を澄んだ印象に整える成分です。α-ピネンは森林浴研究でも注目され、リラックスやストレス軽減との関連が示唆されています。花粉の時期は身体的な違和感に加え、集中力の低下や疲労感も生じやすくなります。清潔感と透明感のある香りは、オフィスや医療空間においても心地よい環境づくりに役立ちます。

空間全体へ噴霧することで、その場にいるすべての人が自然に香りの恩恵を受けられます。花粉シーズン前の2月、呼吸の快適さと心理的な安心感を整える“先手のケア”として、香りの活用を取り入れてみてはいかがでしょうか。



NEW TOPIC

東京スクエアガーデンにて香りの噴霧がスタートしました

東京スクエアガーデンのオフィスロビーにて、る香りの空間演出がスタートいたしました。多くのワーカーの皆さまが行き交う共有空間に、季節に合わせた天然精油の香りを噴霧。

昨年12月には、ロビーに設置されたクリスマスツリーに合わせ、ファーニードル（もみの木）を活用した天然精油を使用。

冬の澄んだ空気を思わせる森林調の香りが広がり、訪れる方々に季節感と温かみを感じていただきました。

また同時期には、体調やコンディションに合わせて香りを選ぶワークショップも開催。

自律神経やストレスケアの視点を取り入れた内容は、多くのワーカー様にご好評をいただき、香りへの関心の高さを実感する機会となりました。

2月・3月は、春の訪れを意識したすっきりとしたフローラル調のブレンドを噴霧しています。ジャスミンのやわらかな華やかさに、ユーカリの清涼感を重ねることで、寒暖差のある季節にも心地よく感じられる空気感を目指しました。

甘さだけでなく透明感を大切にした香りにて、オフィスロビーがリフレッシュと切り替えの場となることを願っています。

これからも、季節や利用者層に合わせた香りの空間デザインを通じて、働く環境の質向上に貢献してまいります。



サンクサンス株式会社



ノベルティサイト(軽井沢蒸留香房)



HPに会報誌のバックナンバーも掲載しています

